

令和3年度実施分

勝浦市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策評価シート

基本目標1 安定して働くことのできる場の確保

| | | | | | | | | |
|----------------|-----|--------|-----|--------|----|----|----|----|
| ●数値目標 | 基準値 | 6,922人 | 実績値 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 個人住民税所得割納税義務者数 | 目標値 | 6,619人 | | 6,761人 | | | | |

【施策1】 農林水産業の振興

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

【評価凡例】
A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 農業者数 | | | 達成度 | 指標2 | 漁業者数 | | | 達成度 | | | | | |
|-----|--------|-----|---------|-----|--------|--------|---------|--------|-----|--|--|--|--|--|
| 基準値 | 2,403人 | 目標値 | 2,330人 | | 基準値 | 1,965人 | 目標値 | 1,868人 | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | | |
| R3 | 2,374人 | | 101.89% | R3 | 1,921人 | | 102.84% | | | | | | | |
| R4 | | | 0.00% | R4 | | | 0.00% | | | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | R5 | | | 0.00% | | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | R6 | | | 0.00% | | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | R7 | | | 0.00% | | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|----------------------------|--|---|
| 新規就農者及び後継者の確保・育成の支援 | 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、給付金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 3年度は将来の担い手として意欲のある新規就農者が1名、農業次世代人材投資事業の採択を受ける事ができた。 | 農業者の減少、耕作放棄地の増加など農業を取り巻く環境は依然として厳しいことから、意欲のある担い手の確保は必要。 令和4年度から従前の農業次世代人材投資事業にかわり新規就農者育成総合対策事業が新設される。制度の周知と併せ新規就農者の確保、育成に取り組む。 |
| 新規漁業者及び後継者の確保・育成の支援 | 担い手確保の手段として、例年「漁業就業支援フェア」等に本市をはじめ、漁業関係者も参加しているが、本年度はコロナ過にあり、イベント自体が中止となった。 | 本市の基幹産業である水産業を支えるうえでも担い手の確保は必要不可欠出あるため、引き続き関係機関と連携し、幅広く新規就労者の確保に取り組みたい。 |
| 勝浦漁港への外来漁船誘致活動の促進 | 勝浦漁港入港外来漁船の船籍地訪問、水揚優秀船の表彰(賞旗、記念品等)、無料入浴券の交付を行う。 乗務員不足や高齢化の影響により、廃業も多い状況にある。例年実施している外来船の船籍地訪問は新型コロナの影響により実施できず、表彰については配送により実施。 | 勝浦漁協の水揚げの多くは外来漁船によるものであり、本事業による経済効果は水産業をはじめ、商工業にも及んでおり、引き続き事業を継続していく。 |
| 勝浦産農林水産物等の地場産品のブランド化及び販売促進 | 県内宿泊施設や百貨店で「勝浦釣り寒マカジキ」をPRした他、「勝浦釣り寒マカジキ」の西京味噌漬けをイベント参加者に配付し知名度の拡大を図った。 | イベント等で勝浦産ブランド水産物をPRする他、農林業・商工業・観光業と連携を図り、勝浦ブランドの知名度を拡大し、販路拡大に努める。 |
| 農林水産業の基盤づくりの強化 | 機能保全計画に基づき、漁港施設の機能回復を目的とした松部物揚場保全工事及び鵜原漁港(長入地区)の機能維持補修工事に向けた測量・設計業務を実施した。 名木木戸、大楠、大森の3地区で実施されている県営ほ場整備事業に負担金を支出し事業の推進を支援した。 | 効率的で効果的な漁港・漁場施設の更新を図るため、当該施設の老朽化状況を調べた機能診断結果による機能保全計画及び個別施設計画に基づき保全工事を行う。 農業生産基盤を確立し生産性向上を図るため、引き続き関係機関と連携し支援を行う。 |

| | |
|------|---|
| 委員評価 | |
| B | 引き続き農林水産業の基盤づくりを進めるとともに、農業、漁業分野における新規就業者の確保に努め、農林水産業の振興を図ること。 |

基本目標1 安定して働くことのできる場の確保

【施策2】 商工業の振興

●重要業績評価指標 (KPI)

| 主要業績評価指標（※） | | | | | | | | |
|-------------|----------------|-----|-------|--------|---|--|--|--|
| 指標1 | 新規利子補給事業者数(延べ) | | | 達成度 | | | | |
| 基準値 | - | 目標値 | 70事業者 | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | | 達成率 | C | | | |
| R3 | 7事業者 | | | 10.00% | | | | |
| R4 | | | | 0.00% | | | | |
| R5 | | | | 0.00% | | | | |
| R6 | | | | 0.00% | | | | |
| R7 | | | | 0.00% | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------------------|--|---|
| 商工会と連携した商店街の活性化 | 令和3年度から空き店舗等活用起業補助金を創設し、空き店舗等を活用した事業展開を支援した。 商店街においては、コロナ禍で大規模なイベント企画の開催が難しいなか、地域住民に足を運んでもらい、親しみある企画を実施した。また、ドローン配送による新たな配送サービス実証実験を実施した。 | 商工会と連携し、起業希望者と空き店舗等の物件の円滑なマッチングや商店街の組織強化につながる取組の支援に努めるとともに、消費低迷が続く商店街において、販売機会の創出による商店街の活性化を図る。 |
| 起業・創業・事業承継希望者に対する支援体制の強化 | 特定創業支援者である商工会主催による創業塾が開催され、受講生から創業に至った事業者があった。また、創業に関する融資への利子補給により創業に向けた支援を行った。 | 起業・創業に関しては、専門家によるアドバイスや相談が必要であることから商工会を中心とした支援体制の強化や情報共有を図る。 |
| 優遇措置等のPR等による企業誘致の促進 | コロナ禍にあり、企業訪問を実施することが出来ず、また、企業も事業活動の自粛傾向であった。 | 本市の地理的状況等を踏まえ、特性にあった企業誘致を進める。 |
| 中小企業の経営近代化の促進 | 中小企業資金融資制度を活用し、中小企業経営の合理化及び設備の近代化等を促進する。 コロナ禍で、事業者への融資制度に対する実質無利子・無担保による支援制度など、コロナ対応型の融資を事業者が活用したため、本市制度融資の利用はなかった。 | 引き続き、市制度融資の運用を継続しながらも、国県の動向を見極めつつ、事業者にとって有利な制度の利用促進に努める。 |
| | | |

委員評価

C

商工会等と連携し、引き続き起業・創業への支援体制の強化に努め、商工業の振興を図ること。

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

| | | | | | | | | |
|----------|-----|-------|-----|--------|----|----|----|----|
| ●数値目標 | 基準値 | △112人 | 実績値 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 人口の社会増減数 | 目標値 | △583人 | | △ 167人 | | | | |

【施策1】 観光振興による交流人口の拡大

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

【評価凡例】
A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 観光入込客数 | | | 達成度 | 指標2 | 市内宿泊客数 | | | 達成度 | | | | | |
|-----|--------|-----|--|-----|-----|--------|-----|--|-----|--|--|--|--|--|
| 基準値 | 900千人 | 目標値 | 1,197千人 | | 基準値 | 312千人 | 目標値 | 414千人 | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | | |
| R3 | 327千人 | | 27.32% <th>R3</th> <td colspan="2">220千人</td> <td>53.14%</td> <th></th> <td colspan="2"></td> <td></td> | | R3 | 220千人 | | 53.14% | | | | | | |
| R4 | | | 0.00% <th rowspan="4">D</th> <th>R4</th> <td colspan="2"></td> <td>0.00%<th rowspan="4">C</th><th></th><td colspan="2"></td><th rowspan="4"></th></td> | D | R4 | | | 0.00% <th rowspan="4">C</th> <th></th> <td colspan="2"></td> <th rowspan="4"></th> | C | | | | | |
| R5 | | | 0.00% <th>R5</th> <td colspan="2"></td> <td>0.00%<th></th><td colspan="2"></td></td> | | R5 | | | 0.00% <th></th> <td colspan="2"></td> | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% <th>R6</th> <td colspan="2"></td> <td>0.00%<th></th><td colspan="2"></td></td> | | R6 | | | 0.00% <th></th> <td colspan="2"></td> | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% <th>R7</th> <td colspan="2"></td> <td>0.00%<th></th><td colspan="2"></td></td> | | R7 | | | 0.00% <th></th> <td colspan="2"></td> | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|----------------------|---|---|
| 新たな体験型観光メニューの開発 | 通年型観光を目指す上で、体験型観光は顧客満足度の向上にもつながることから重要な観光コンテンツである。地域特性を活かしたコンテンツづくりを進めた。 | 本市の特性である、さと海・さと山の魅力ある体験型観光を推進する。 |
| 地域資源を活かした観光イベントの開催 | かつらビッグひな祭りは、観光客を誘客するとともに、市内全体を周遊することによるまちおこし・地域活性化を図るため、市内各地にひな人形を募集し飾り付けしているが、コロナ禍のため、開催中止となった。 また、かつら若潮まつりは、夏の観光イベントとして開催してきたが、コロナ禍のため、開催中止となった。 | コロナにより、開催中止が続くなか、ボランティア団体の協力を以前のように得られる保証はなく、開催に向けては規模等の検討が必要となる。 |
| 観光地の基盤づくりの強化 | 観光協会組織強化に向けて、新たに地域活性化起業人として委嘱し、地域DMOの活動推進及び観光コンテンツの企画・立案・実行に関する業務にに取り組んだ。 | 観光協会及び観光関連事業者を中心としたオール勝浦での観光振興体制づくりを進める。 |
| 戦略的な情報発信及びプロモーションの実施 | コロナ禍にあり、観光キャラバンの実施が出来なかったことから、積極的なPR活動を実施できなかった。一方、観光パンフレットを一新するとともに、観光に関するHPを観光協会に集約するなど、情報発信の充実・一元化を図った。 | 情報の収集・発信のあり方が大きく変化していることから、観光PRのあり方を継続的に見直し、観光情報発信の充実を図る。 |
| 観光ぶらっとフォーム事業 | 登録DMOである勝浦市観光協会を中心に、地域資源を活用した観光商品造成や専門人材による商品企画を実施した。 | 登録DMOと連携し、地域の稼ぐ力を引き出すとともに観光地経営の視点に立った観光地域づくりを推進する。また、当面は、国内観光需要の取り込みを促進しつつも、アフターコロナを見据えた取組を進める。 |
| かつら海中公園再生計画事業 | 魅力的な観光地の基盤づくりの強化を図り、観光産業、農林水産業等の振興に資するため、滞在型観光施設を整備するにあたり、令和3年度は設計及び建設工事を実施した。 | 令和4年度の業務開始に向けて整備等を推進する。 |

| | | |
|------|---|--|
| 委員評価 | C | 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、新たな体験型観光などのコンテンツづくりに努めるとともに、効果的なPRを行い、観光振興による交流人口の拡大を図ること。 |
| | | |

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

【施策2】 移住・定住施策の促進

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 空き家バンク成約件数(延べ) | | 達成度 | 指標2 | 若者等定住促進奨励金交付件数(延べ) | | 達成度 | | | | | | |
|-----|----------------|-----|-------|-----|--------------------|-----|-------|-----|-----|--|--|--|--|
| 基準値 | - | 目標値 | | 60件 | 基準値 | - | | 目標値 | 67件 | | | | |
| 年度 | 実績値 | | | 達成率 | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | |
| R3 | 4件 | | 6.67% | R3 | 4件 | | 5.97% | | | | | | |
| R4 | | | 0.00% | R4 | | | 0.00% | | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | R5 | | | 0.00% | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | R6 | | | 0.00% | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | R7 | | | 0.00% | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------------------------|---|--|
| 移住・定住相談体制の充実 | 移住相談窓口をKAPPYビジターセンター内に設置し、職員2名を配置し体制を強化した。また、新たに移住・定住促進業務として地域おこし協力隊を1名委嘱し、プロモーション業務を推進した。地方移住への関心の高まりもあり、相談件数が大幅に増えた。 | 移住定住ポータルサイト「日々、かつうら」をリニューアルするとともに動画作成を進め、プロモーションを強化する。また、受入体制の整備を進める。 |
| 移住ポータルサイトやSNSによる移住地としての魅力発信 | 移住ポータルサイトをリニューアルし、移住者インタビューなどの内容充実を図るとともに、SNSへ動画を掲載した。ポータルサイト閲覧数及びSNSフォロワーともに増えている。 | 移住者目線での情報発信に努めるとともに、地域おこし協力隊によるプロモーション活動を推進する。 |
| 空き家バンク制度の活用による住まいに関する情報提供 | 空き家バンクの成約件数が増える一方、登録件数が伸び悩む状況であった。移住先を検討する場合に、住まいの情報は重要であることから、ニーズに対応できるよう登録促進に努める。 | 引き続き、空き家バンク制度を活用した住まい情報を提供するとともに、登録物件数の増加に努める。 |
| 若者やテレワーク実施者にターゲットを絞った定住促進施策の実施 | コロナ禍にあり、都市部から地方へ分散する動きが見受けられた。特に、これまで交付実績のなかった③移住支援事業支援金の交付が6件と東京23区からの移住者が増えた。 | テレワークの普及に伴い、転職なき移住が可能となったことから、本市の都心へのアクセス性や自然環境豊かな地域資源などの魅力をPRし、移住を促進する。 |
| 特色ある学校教育の推進 | 全ての学校において特色ある学校教育に係る事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた特色ある活動が実施できなかった学校もあった。新型コロナウイルス感染症への対応を行いつつ、その中で実施できる方法を検討する必要がある。 | 実施内容は各学校で様々であるが、新型コロナウイルス感染症への対応を前提とした実施方法を検討する。 |
| 地域全体で子どもの学びや成長を支える地域づくりの推進 | 学校支援ボランティア制度実施要綱に基づき、ボランティアによる学校支援活動事業を実施した。また、小学生、中学生に多様な体験活動事業を実施し、学習支援や英語教室、水泳教室、地域未来塾などを実施した。 | 地域との連携は非常に重要であり、子供たちにとって大変有意義な学習や体験ができ、今後も継続すべきと考える。 |

| | |
|------|--|
| 委員評価 | |
| C | テレワークなど新たな働き方に対応した移住・定住施策を行うとともに、効果的な情報発信に努めること。また、空き家バンクへの登録増加に努めること。 |

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

【施策3】 関係人口の増加に向けた取組の推進

●重要業績評価指標 (KPI)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----|---------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 指標1 | ふるさと納税寄附件数 | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準値 | 97,972件 | 目標値 | 98,000件 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R3 | 219,135件 | | 223.61% | | | | | | | | | | | | | | | |
| R4 | | | 0.00% | A | | | | | | | | | | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | | | | | | | | | | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------|---|--|
| 友好都市との交流促進 | イベント交流については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部、実施できなかった。 全国勝浦ネットワーク会議を勝浦町で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。 今後、ICTを利用した交流機会・交流方法の創出を図るなどの検討が必要と考える。 | 新たな交流事業を検討するとともに、多分野での交流促進を引き続き図っていく。 また、ウェブ会議などを実施することで様々な施策において情報共有を行うとともに、互いの地域の情報を相互に発信する取組を実施したい。 |
| ふるさと納税のPRの強化 | 約130件の返礼品をふるさと納税ポータルサイト「さとふる」「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ANAのふるさと納税」「三越伊勢丹ふるさと納税」へ掲載し、寄附受付や配送業務等を㈱さとふるへ委託することで事務の簡素化を図りつつ財源の獲得に努めている。 | ふるさと納税制度の市場規模は今後も拡大することが予想されることから、魅力的な返礼品の追加・拡充やポータルサイトを通じた継続的なPRを行うとともに、庁内関連部署と連携し、他の媒体を活用したPRを展開することでより多くの寄附獲得を図る。 |
| | | |
| | | |
| | | |

| | |
|------|--------------------------------|
| 委員評価 | |
| A | 引き続き、ふるさと納税を活用した関係人口の増加に努めること。 |

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

| | | | | | | | | |
|---------------|-----|--------|-----|--------|----|----|----|----|
| ●数値目標 | 基準値 | 1,195人 | 実績値 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 年少人口(0～15歳未満) | 目標値 | 908人 | | 1,069人 | | | | |

【施策1】結婚のしやすい環境づくり

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

【評価凡例】
A:目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B:ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C:目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

●重要業績評価指標(KPI)

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-----|-------|---|--|--|--|--|--|
| 指標1 | 婚活支援イベント開催回数 | | 達成度 | | | | | | |
| 基準値 | 5回 | 目標値 | 5回 | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | | |
| R3 | 0回 | | 0.00% | | | | | | |
| R4 | | | 0.00% | D | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------------------|--|---|
| 婚活支援体制の充実 | 平成29年度より、結婚を望む未婚者に対し出会いから成婚までの支援を目的とした、婚活支援員による結婚相談制度を運用している。現在10名の支援員の登録があり、婚活業務を委託しており、支援員の仲介によるマッチング(お見合い)を12回実施した。 | 婚活支援員に対し、結婚相談所マッチングや婚活イベントの業務委託を継続して委託し、結婚を希望する男女の出会いの場を創出する。 |
| 婚活イベントの開催等による男女の出会いの場の創出 | 女性限定で、婚活支援員による結婚相談などを行う「縁Salon」、市内寺院を会場として行う「寺コン」といった婚活イベントを計画していたが、コロナの影響で中止とした。 | 引き続きマッチングと婚活イベントの実施を計画しているが、女性の参加が少ないなどの課題があることから、婚活支援員と協議しながら、女性へのアプローチや広域的なイベント開催を検討する。 |
| | | |
| | | |

| | |
|------|---|
| 委員評価 | 新型コロナウイルス感染症の収束後の婚活支援イベント開催に向け、体制を整えること。また、引き続き、支援員を活用した、出会いの場創出の環境づくりに努めること。 |
| C | |

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

【施策2】 妊娠期から乳幼児期における支援

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 1歳6ヶ月児検診受診率 | | | 達成度 | 指標2 | 3歳児検診受診率 | | | 達成度 | | | | |
|-----|-------------|-----|--------|-----|-----|----------|-----|--------|-----|--|--|--|--|
| 基準値 | 86.5% | 目標値 | 100.0% | | 基準値 | 93.5% | 目標値 | 100.0% | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | |
| R3 | 96.4% | | 96.40% | B | R3 | 91.4% | | 91.40% | B | | | | |
| R4 | | | 0.00% | | R4 | | | 0.00% | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | | R5 | | | 0.00% | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | | R6 | | | 0.00% | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | | R7 | | | 0.00% | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|---------------------|---|---|
| 母子保健および子育て支援相談の充実 | 保育士自身が児童等の情勢に即した研修内容を考えることで、子育て相談において実践的に役立っている。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、研修の実施をすることが出来なかった。新型コロナ下、研修方法等を検討し、現情勢やニーズに見合った研鑽に努めていくことが必要となっている。 | 研修方法を検討し、身近な子育て相談窓口として、保護者が常時相談できるよう、今度も各保育士の資質向上に努める。 |
| 妊婦や母子の健康保持・増進のための取組 | 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、健診や相談事業が中止や延期になったが、子育て世代包括支援センター「ひだまり」を利用し個々の相談に対応した。また健診日の拡充や保育所から受診勧奨してもらうなど、感染症対策を講じながら、受診勧奨を徹底した。産後ケア事業も利用者の満足度は高くリピーターも多い一方で、利用期間の拡充への要望も多かった。フッ素珪化物歯面塗布事業は感染症を懸念し実施を見合わせる方もいた。実施期間は1年間であるため、なるべく早期に利用するよう呼びかけが必要と思われる。 | 子育て世代包括支援センターでの個別相談の充実(不定期に歯科衛生士の個別対応等)を図る。また、1.6・3歳児健診日を増やし受診者を分散させる等、引き続き感染症対策を徹底する。また保育所等と連携し、未受診者への受診勧奨を徹底する。 産後ケア事業については、利用期間の拡充を検討し、子育て支援の充実を図る。 |
| 医療費助成による子育て世帯への支援 | 中学校3年までの子どもの医療費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、医療の充実を図った。 子育て支援として、子どもに係る医療費を助成することは、保護者の経済的負担を軽減する点で妥当であり、支給事務においても適正な処理が行われている。 | 今後も本事業を継続し、子育て支援体制の充実に努めていく。なお、令和4年度からは対象年齢を拡大(高校生相当まで)する。 |
| 不妊治療を受けている世帯への支援 | 市のホームページや広報等で事業を周知し、対象者に対し電話や窓口で相談および申請に応じ、助成を行った。また、保健所からの案内により申請する方に対しても、相談および助成をすることができた。 不妊治療は複数回実施される方も少なくないため、対象者の経済的な負担が大きいことから、対象となる方が申請漏れがないよう、事業の周知徹底が課題である。 | 引き続き、対象者への経済負担が軽減されるよう助成を継続する。また、ホームページや広報等で周知の他、保健所や医療機関への周知に努める。 |

| 委員評価 | |
|------|--|
| B | 引き続き乳幼児期における支援の充実に努めるとともに、支援制度の周知を図り、対象者を取りこぼさぬようサポートに努めること。 |

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

【施策3】 学校教育期における支援

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 放課後ルーム入所希望者受入率 | | | 達成度 | 指標2 | 支援教室・セミナーの開催日数 | | | 達成度 | | | | | | |
|-----|----------------|-----|--------|-------|---------|----------------|------|------|-------|--------|--|--|--|--|--|
| 基準値 | 100.0% | 目標値 | 100.0% | | 基準値 | 108日 | 目標値 | 120日 | | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | | | 達成率 | 年度 | 実績値 | | | 達成率 | | | | | |
| R3 | 100% | | | | 100.00% | R3 | 115日 | | | 95.83% | | | | | |
| R4 | | | | 0.00% | R4 | | | | 0.00% | B | | | | | |
| R5 | | | | 0.00% | R5 | | | | 0.00% | | | | | | |
| R6 | | | | 0.00% | R6 | | | | 0.00% | | | | | | |
| R7 | | | | 0.00% | R7 | | | | 0.00% | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 実施状況 | 今後の展開 |
|----------------------------|---|--|
| 子育て支援施設の充実 | 勝浦小学校の対象児童の受入に必要な定員を確保するため、かつうら放課後ルーム建設に向けて、令和2年度においては元勝浦幼稚園舎の解体を完了。勝浦こども園から元勝浦幼稚園敷地へと至る市道整備が延期されたことに伴い、当初予定していたかつうら放課後ルーム施設の設計業務は延期したが、今後の児童数の推移を再度検証し、定員について見直しを行った。(120名→110名) | 令和4年度において、新かつうら放課後ルームの設計を行う。 令和5年度建設 令和6年度供用開始 |
| 医療費助成による子育て世帯への支援 | 中学校3年までの子どもの医療費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、医療の充実を図った。 子育て支援として、子どもに係る医療費を助成することは、保護者の経済的負担を軽減する点で妥当であり、支給事務においても適正な処理が行われている。 | 今後も本事業を継続し、子育て支援体制の充実に努めていく。なお、令和4年度からは対象年齢を拡大(高校生相当まで)する。 |
| 学校給食費の負担軽減による子育て世帯への支援 | 令和3年度は市内に住民登録のある小中学生の保護者に対する学校給食費の半額補助を実施した。(勝浦市の給食費の半額を限度) | 令和4年度以降については、市内に住民登録のある小中学生の保護者に対する学校給食費を全額補助を実施する。(勝浦市の給食費を限度) |
| 特色ある学校教育の推進 | 全ての学校において特色ある学校教育に係る事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた特色ある活動が実施できなかった学校もあった。新型コロナウイルス感染症への対応を行いつつ、その中で実施できる方法を検討する必要がある。 | 実施内容は各学校で様々であるが、新型コロナウイルス感染症への対応を前提とした実施方法を検討する。 |
| 情報化の推進による学校や家庭における学習環境の整備 | 教育の情報化を推進し、教育現場におけるICT機器の積極的活用をはかるため、小中学校におけるICT環境の整備を図った。 | 授業にICT機器を活用できる環境は概ね整備されたと考える。 今後は授業での効果的な活用や児童生徒が端末を自宅に持ち帰ることを前提とした活用方法等を検討するとともに、教職員のICT機器活用能力を向上させる必要がある。 |
| 国際武道大学との連携による運動指導等の充実 | 小中学校の部活動において、同大学の学生を外部指導者として招聘し技能の向上を図る事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。 | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、実施の可否を判断する。 また実施にあたっては、運動部活動における地域移行も視野に入れた検討を行う必要がある。 |
| 地域全体で子どもの学びや成長を支える地域づくりの推進 | 学校支援ボランティア制度実施要綱に基づき、ボランティアによる学校支援活動事業を実施した。また、小学生、中学生に多様な体験活動事業を実施し、学習支援や英語教室、水泳教室、地域未来塾などを実施した。 | 地域との連携は非常に重要であり、子供たちにとって大変有意義な学習や体験ができ、今後も継続すべきと考える。 |

| 委員評価 | |
|------|---------------------------|
| A | 引き続き学校教育期における支援の充実に努めること。 |

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

| | | | | | | | | |
|-------|-----|---------|-----|---------|----|----|----|----|
| ●数値目標 | 基準値 | 17,055人 | 実績値 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 人口 | 目標値 | 15,407人 | | 16,203人 | | | | |

【施策1】 地域公共交通の確保

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

【評価凡例】
A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 予約制乗合タクシーの1日あたり乗車人数 | | | 達成度 | 指標2 | 市内路線運行回数 | | | 達成度 | 指標3 | | | | 評価 |
|-----|---------------------|-----|--------|-----|-----|----------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 基準値 | 19.8人 | 目標値 | 20.0人 | | 基準値 | 47回/日 | 目標値 | 47回/日 | | 基準値 | | 目標値 | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | |
| R3 | 12.4人 | | 62.00% | C | R3 | 41回/日 | | 87.23% | B | R3 | | | | |
| R4 | | | 0.00% | | R4 | | | 0.00% | | R4 | | | | |
| R5 | | | 0.00% | | R5 | | | 0.00% | | R5 | | | | |
| R6 | | | 0.00% | | R6 | | | 0.00% | | R6 | | | | |
| R7 | | | 0.00% | | R7 | | | 0.00% | | R7 | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------------------|---|---|
| JR外房線の運行維持及び利便性向上のための取組 | 期成同盟・促進協議会による要望活動を実施。 外房線は、産業・観光発展の基盤として首都圏と地域をつなぐ重要な役割を果たす一方、通勤・通学など地域住民の生活を支える重要な交通手段であり、その利便性向上は、当地域の持続的発展に必要不可欠であることから要望活動は継続する必要がある。 | 運行本数の維持、接続改善を要望するとともに障害者や高齢者への安全対策や踏切付近における安全確保等を求めていく必要がある。 また、駅と郵便局やコミュニティー施設との併設等による地域活性化策の推進を図る必要がある。 |
| 市内路線バスの運行維持及び利便性向上のための取組 | バス路線の運行に要する経費の補助を実施。 市内バス路線の維持による市民の移動手段の確保は重要であり、バス路線運行維持補助金により、運行維持に係る損失補填等は妥当と考える。 新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、運行事業者の収益は悪化していることが見込まれることから、運行事業者と十分な協議のうえ、バス路線の維持を図っていく必要がある。 なお、令和3年度及び令和4年度については新型コロナや燃油高騰の影響を勘案し、バス路線運行費補助金の上限額を1,300万円とした。 | 令和4年度において地域公共交通計画の策定を予定しており、このなかで運行事業者とも協議を行い、持続可能かつ利便性の高い交通体系をの維持を図っていく。 また、都市間交通である高速バス路線についても、運行事業者と利便性向上に向けて協議を進める必要がある。 |
| 予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）の運行 | 路線バスが運行されていない興津地区西部を、10月より自由乗降区域として運行区域に追加し、上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一部において、デマンドタクシーの運行を行った。 公共交通の不便地域における分散した少ない需要に対して、デマンドタクシーの運行は有効と考える。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会が減り、乗車人数は減少したが、感染対策を徹底したうえで、移動手段の確保のためデマンドタクシーの運行は継続する必要がある。 | デマンドタクシーの利用者アンケートへの対応や地域公共交通計画を策定（令和4年度）するなかで、利便性向上を図るとともに、運行区域の拡大等の検討についても検討を行う。 |
| | | |

| | |
|------|--|
| 委員評価 | |
| C | デマンドタクシーの運行について、利便性の向上を図るとともに、交通事業者への要望活動を継続し、地域公共交通の確保に努めること。 |

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

【施策2】 魅力ある地域づくりの推進

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | | | | 市民文化教室参加者数 | | 達成度 | 指標2 | | | | 芸術文化交流センター来館者数 | | 達成度 | 指標3 | | | | 住民主導型地域づくり支援事業件数(延べ) | | 達成度 | | | | | | |
|-----|--|------|--|------------|--|-----|------|--|------|--|----------------|--|-----|-----|--|----------|--|----------------------|--|-----|----|--|-----|--|-------|--|
| 基準値 | | 802人 | | 目標値 | | | 800人 | | 基準値 | | 136,955人 | | | 目標値 | | 100,000人 | | 基準値 | | | - | | 目標値 | | 15団体 | |
| 年度 | | 実績値 | | 達成率 | | | R3 | | 401人 | | 50.13% | | | R3 | | 53,094人 | | 53.09% | | | R3 | | 1団体 | | 6.67% | |
| R4 | | | | 0.00% | | C | R4 | | | | 0.00% | | C | R4 | | | | 0.00% | | C | | | | | | |
| R5 | | | | 0.00% | | | R5 | | | | 0.00% | | | R5 | | | | 0.00% | | | | | | | | |
| R6 | | | | 0.00% | | | R6 | | | | 0.00% | | | R6 | | | | 0.00% | | | | | | | | |
| R7 | | | | 0.00% | | | R7 | | | | 0.00% | | | R7 | | | | 0.00% | | | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|------------------------|---|---|
| 多様なニーズに対応した学習機会の提供 | 市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心に応えるため各種文化教室・講座を開催。各種文化教室・講座の定員充足率は高く、講師料は比較的安価であり費用対効果は高い事業と考えるが、参加率の低い若い世代・男性のニーズの把握に努める必要がある。磯の観察会、婦人学級、高齢者学級、大洋家庭教育学級については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。 | 定員充足率や参加者アンケート等を参考に、市民のニーズの把握に努め、実施した文化教室・講座の継続や新たな教室・講座の開催を検討する。市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心は高く、これに応えるべく様々な文化教室・講座を開催し、更なる充実を図る。 |
| サークル活動の支援 | 自主的に活動する学習の場の提供の他、芸術文化交流センター等の施設利用促進や各種文化教室・講座を開催し、新規サークル団体の発足(移行)など、市民の文化活動・交流活動の活性化を図った。また、施設使用料の減免によりサークル団体の利用促進を図っており、また、サークル紹介・会員募集チラシ等の掲示やホームページでのPRなど、経費なく実施している。 | 市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心は高く、これらの受け皿としてのサークル団体の文化活動・交流活動の支援は重要と考え、今後も継続して実施する。芸術文化交流センター及び各集会所の利用促進や、各種文化教室・講座の開催による新規サークル団体の発足のきっかけを創出し、市民の文化活動・交流活動の活性化に努めるものとする。 |
| 芸術文化公演の開催 | 「新型コロナウイルス」感染拡大防止対策の観点から縮小・中止・延期をした事業もあり、来場者数・開催回数ともに減少したが、市民が心豊かな生活を送るため、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供するとともに、市民及び近隣地域住民の交流促進を図った。公演委託料及び広報宣伝費等の経費節減を図っており、事業費は適正と考えるが、来場者を増やすことで更なる効率性の向上が期待できる。 | 市民の様々な芸術・文化に対するニーズに応えるため、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供する本事業は有効性が高く、今後も継続して実施する。入場料収入の確保及び有効な宣伝方法及び開催方式(共催)等について検討し、可能な限り収支の均衡を図り、経費節減に努めるものとする。また、「新型コロナウイルス」感染拡大防止対策を講じ、来場者・出演者等関係者・職員の安全確保に努めるものとする。 |
| スポーツを通じた健康づくりの推進 | 各種スポーツ教室については、感染防止対策とし開催時期の変更や参加定員を減らすなどの対応を図り、実施事業については感染症対策を徹底したうえで実施できたが、変異株の影響もあり全体としては、中止事業の方が多くなってしまった。また、市民のスポーツ大会やスポーツ教室の実施団体であるスポーツ協会やスポーツ推進員等の団体活動への支援を図ることで、市民に対し広くスポーツの機会を提供を行った。 | 市民のスポーツ振興と健康づくりを推進するため、各種スポーツ団体との連携を強化し継続して支援を図る必要があると考える。スポーツの振興及び健康で活力ある市民生活を営むうえでも、各種スポーツ教室の開催は重要な事業と認識しており、今後もニーズを的確に把握し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めたうえで、事業を継続する。 |
| 地域団体等による自主的なまちづくり活動の支援 | 青少年によるまちづくりでは、2団体が活動、住民主導によるまちづくりでは、新型コロナウイルスの影響もあり、本年度の補助申請を見送る団体もあった。活動団体の掘り起こしや、まちづくり活動の理念の醸成に向けた取り組みの必要がある。 | まちづくり活動の周知を図るなど、引き続き、“市民協働のまちづくり”の理念の醸成に向けた取り組みを行うとともに、活動団体の掘り起こしに努める。 |

| 委員評価 | |
|------|---|
| C | 新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限により実績が低くなっているが、感染症の収束を見据え、各事業のPRを行うとともに、魅力ある文化講演や各種教室の開催に努めること。 |

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

【施策3】 安心・安全な暮らしの確保

●重要業績評価指標 (KPI)

| 指標1 | 自主防災組織率 | | | 達成度 | 指標2 | 防犯カメラ設置台数 | | | 達成度 | | | | | |
|-----|---------|-----|--------|-----|-----|-----------|-----|---|-----|--|--|--|--|--|
| 基準値 | 58.0% | 目標値 | 77.1% | | 基準値 | 31台 | 目標値 | 36台 <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> | | | | | | |
| 年度 | 実績値 | | 達成率 | | 年度 | 実績値 | | 達成率 | | | | | | |
| R3 | 61.0% | | 79.12% | B | R3 | 27台 | | 75.00% | B | | | | | |
| R4 | | | 0.00% | | R4 | | | 0.00% | | | | | | |
| R5 | | | 0.00% | | R5 | | | 0.00% | | | | | | |
| R6 | | | 0.00% | | R6 | | | 0.00% | | | | | | |
| R7 | | | 0.00% | | R7 | | | 0.00% | | | | | | |

●事業評価

| 主な取組 | 令和3年度実施状況 | 今後の展開 |
|--------------|---|---|
| 高齢者等の包括的な支援 | 高齢者の総合相談窓口として、総合的、包括的に相談支援を行った。 また、高齢者支援の関係機関と連携を図るためのネットワークの構築を推進した。 | 相談内容は、軽微なものから専門性の高い内容等、さまざまであり、1回の相談で解決できない事案が増えてきている。包括支援センターの専門職が、それぞれ自己研鑽して技能を向上させるとともに、事案によっては外部の支援も必要になるため、外部機関とのネットワークの構築に引き続き努める。 |
| 自主防災組織の設立促進 | 自主防災組織の新規設立を希望する区が少なく、各区役員への自主防災組織の重要性の説明が必要とされる。その他、新しく制定した機材購入費補助制度により、2団体が機材の更新を行った。 | 津波の危険性の高い海岸地域を中心に設立が進んできており、自主的な活動の広まりや市民の自助・共助意識の高まりを感じるが、その一方で自主防災組織の設立を希望しない区も多いため、組織設立の必要性の啓発を強化する必要がある。また、機材購入費補助制度により、各団体の老朽化した機材の更新を進めていく。 |
| 消防防災施設・設備の充実 | 消防ポンプ自動車を6-1(松野)班へ配備。 道交法改正による普通免許の運転上限が3.5トンとされることへの対応が必要となる。 | 今後の班編制の変更を踏まえながら適正な更新に務める。 |
| 防犯カメラの設置推進 | 令和3年度は新規1台、旧型更新2台。市内各地への設置や更新が進み、犯罪抑止や警察の捜査に役立てる事ができている。また、老朽化し利用頻度の低い場所の撤去を行った。 | 今後は老朽化したカメラの更新とともに、新規設置場所の選定について警察と綿密な協議を行う。 |
| 交通安全の啓発 | 交通安全協会、勝浦警察署と連携し保育所、幼稚園、小中学校において交通安全教室を開催。交通安全運動期間中のキャンペーン運動を実施。交通安全協会に対し、補助金を交付し、交通安全に関する啓発活動等を支援。 | 今後も市民への交通安全知識の啓発に努める。 |
| | | |

| 委員評価 | |
|------|---|
| C | 引き続き防犯・防災設備等の充実を図るとともに、災害時における自助・共助・公助の体制づくりに努めること。 |